

平成 29 年 3 月改定版における基本計画の評価（案）

前改定版の計画では、基本方針として「市民、事業者、市が一体となってごみを出さない社会への転換」「ごみの中から資源ごみを回収し環境にやさしいまちづくり」「ルールとマナーがつくる美しく快適なまちづくり」「将来の環境を考えた環境負荷の少ない適正な処理」を掲げました。

取り組みの把握・評価をするため、令和 33 年度の数値目標としては、家庭から排出される「収集ごみ」の一人一日当たりの排出量単位について、「一日一人あたりの排出量を平成 27 年度（2015）年度から約 5% 減の 523.1g」と定め、直接搬入ごみについても、「平成 27 年度実績から 0.4t/日」の削減を目標とする「9.2t/日」に設定しました。また、「資源ごみの再生利用率を同 0.2% 増の 16%」「最終処分量を平成 17 年度実績より 16% 減の年 2,114 トン」にするという新たな目標値を設定しました。

これらの目標値を達成するため、リフューズ（不要なものは断る）・リデュース（ごみの発生を抑制する）・リユース（不要となったものを再利用する）・リサイクル（資源として再生利用する）を掲げ、次の施策を進めました。

まず、資源物のリサイクルを促進するため、団体と協力して紙パックや廃食油回収を実施しているほか、市内 4 か所でカン・ビン・ペットボトルを 24 時間出せる拠点回収ステーションを設置するとともに、市役所に資源物回収ステーションを新設し、新たに古紙回収を始めました。

市内の分別収集ステーションでは、資源物が適正に排出されるよう、また、不法投棄対策のため人員を配置し、夜間の前日出し指導業務にあたりました。その他、広報むこうでは、ごみに関する特集記事「ごみのおはなし」をシリーズ化して掲載しているほか、ホームページ等により周知啓発を実施して参りました。

しかしながら、近年のごみ減量ペースが緩やかになっており、特に、再生利用率を 16% とする目標値の達成には厳しい状況となっています。

計画の目標達成状況

【減量化目標】

	実績		減量化目標（H27 年度比）		目標達成状況
	平成 27 年度	令和元年度	目標値	削減割合	
一人一日当たり 収集ごみ量	552.4g/人・日	519.1g/人・日	523.1g/人・日	約 5% 減	R 1 年度において目標は達成している。
一日当たり 直接搬入ごみ量	9.6t/日	10.1t/日	9.2t/日	約 4% 減	R 1 年度において目標は達成していない。

〔評価〕

収集ごみ量は目標を達成しているが、近年増加しているマンションからのごみについては、一部が直接搬入ごみとして集計されていることから、実際の一人一日当たりの収集ごみ量は少し大きくなる可能性があります。同様に直接搬入ごみについては、本来収集ごみとして集計されるごみが混入していることを踏まえると、概ね目標を達成する程度の直接搬入ごみ量となっている可能性があります。

【再資源化目標】

	実績		再資源化目標	目標達成状況
	平成 27 年度	令和元年度	再生利用率	
一人一日当たり資源回収量	約 31 g /人・日	約 31 g /人・日	—	
再生利用量	615 t /年	649 t /年	—	
再生利用率	約 4.2%	約 4.4%	16.0%	R 1 年度において目標は達成していない。

〔評 価〕

再生利用率が低い状況にありますが、これは集団回収、拠点回収の量が把握できていないことが要因と考えられます。今後、これらの把握とごみの全量の減量に努めることで再生利用率は大きく改善される可能性があります。

【最終処分量削減目標】

	実績		削減目標	目標達成状況
	平成 17 年度	令和元年度	(削減率)	
最終処分量	2,510 t /年	2,392 t /年	2,114 t /年	
削減率	—	約 4.7%減	約 16%減	R 1 年度において目標は達成していない。

〔評 価〕

最終処分量の目標達成は、ごみの減量化目標や再資源化目標の達成状況により大きく影響を受けます。